



宿泊施設のためのアジアエコツーリズム国際基準 (AESA)

令和 1 年 7 月 24 日

I サステナビリティ

1) 施設全体での取り組み

	AESA 項目	評価指標
1.1-1	【サステナビリティ・マネージメントシステム】 実際の規模や実態に則し、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全性、リスク管理、危機対応において、見直しを継続的に行う仕組みがありますか？	「サステナビリティ・マネージメント・システム」(SMS) が明確に文書化されている。 SMS には、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全性の項目が含まれている。 SMS には、リスク管理と危機対応の項目が含まれている。 SMS の実行について文書で記録している。 SMS には、サステナビリティの達成度において、継続的な改善にむけたモニタリングがされている。
1.1-2	【インパクト・マネジメント】 あなたの施設による自然や文化への負荷を把握し、目標と計画を立てて、最小限に抑えるよう努めていますか？	負荷をカテゴリ別にリスト化し、計画を立て、最小限に抑えるように努めている。
1.1-3	【環境への責任】 環境問題についての管理責任を明確にしていますか？	環境問題について責任を負う担当者（管理部門）が任命されている。
1.1-4	【法令順守】 あなたの施設では、環境に関連する法令や政策について、地域、国、国際レベルで、常に最新の情報を把握していますか？	可能な限り毎年確認している。あるいは、最終更新日を確認している。
1.1-5 (任意)	【方針の評価】 今後の活動をより効果的なものにするため、サステナビリティに関する方針について年に一度以上監視と検証をしていますか？	サステナビリティに関する方針が更新された時には、それらの監視と検証を行い、その日付を記録している。
1.1-6	【方針の公開】 サステナビリティに関する方針を、一般に公開していますか？	受付や客室など目立つところにサステナビリティに関する方針を表示している。
1.1-7	【サステナビリティ研修】 すべての従業員に対し、国際基準に準拠したサステナビリティに関する研修を年に一度以上行っていますか？	サステナビリティに関する研修を受けた従業員の氏名と日付を記録している。研修の内容についても記録している。

1.1-8	【労働者の権利】 労働者の権利に配慮し、安全かつ安心な労働環境が提供され、少なくとも生活賃金が支払われていますか？	国/地域レベルでの労働者の権利と最低賃金に関する最新情報を整理保管している。安全安心な労働環境の提供や改善のために従業員から聞き取りをしている。
1.1-9	【社会的法令順守】 あなたの施設に関係する、保健、安全、人権、リスク管理、危機対応、労働法や政策について最新情報を把握していますか？	最新情報が更新される度に記録している。
1.1-10	【研修の機会】 すべての従業員に対し、人権、リスク・危機管理に関する役割と責任についての理解を深めるために、定期的な研修、ガイダンス、経験や機会を与えていますか？	研修、ガイダンス、経験、機会に関する記録を残している。
1.1-11	【従業員の参画】 従業員がSMSの開発や運用に参画していますか？	与えられた役割と責任について、記録している。
1.1-12	【サステナブル・マーケティング】 オペレーションや商品、サービスに関する広報素材や販売ツールは、正確かつ透明であり、サステナビリティに関する主張や実践以上のことを約束していないですか？	より正確であり、透明性を確保するため、第三者の視点でチェックしている。
1.1-13	【観光地への参画】 観光地における、サステナブル・ツーリズムの計画づくりやマネジメントに関わる場に参画していますか？	その地域のDMOや観光協会の名前と、その役割を記載している。

2) 項目ごとの取り組み

	AESA 項目	評価指標
1.14	【食品廃棄物の測定】 食品廃棄物の量を測定し、具体的な目標や計画を立てて発生抑制、減量化、リサイクルに取り組んでいますか？	食品廃棄物の量に応じて、日ごとのあるいは最低でも月ごとの量を測定している。 リサイクルやコンポストされる量の割合を把握している。 食品廃棄物の管理計画を作成し定期的に見直している。
1.15	【食品廃棄物以外の廃棄物】 食品廃棄物以外の廃棄物（包装材、客室のごみなど）の種類と量を把握し、具体的な目標や計画を立てて削減やリサイクルに取り組んでいますか？	アメニティや各種包装材、客室のごみ、ペットボトル、缶、電池、石けんなどの量について測定している。 廃棄物は分別され、最大限にリサイクルやアップサイクルをしている。
1.16	【エネルギー管理】 エネルギー（電力、重油、ガス等）の使用量を把握し、具体的な目標や計画を立てて、使用量削減に取り組んでいますか？	客室や建物の全ての電化製品のリストを作成し、その数、消費電力（kWh）、使用時間について記録している。重油やガス等についても同様のリストを作成している。
1.17	【水管理】 水リスク、水の使用量や排水の水質を把握し、具体的な目標や計画を立てて、使用量削減と環境汚染の抑制に取り組んでいますか？	水リスクの高い地域においては、状況に応じた管理目標を設定し、目標達成に努めている。 上水道、用水路、井戸、雨水等、処理・未処理に関わらず、それぞれの水源と使用量を把握している。
1.18	【グリーン購入】 可能な限り環境にやさしく、地元産またはフェアトレードの商品、地元のサプライヤーを選択するグリ	グリーン購入の方針の具体的な目標や計画を立てている。別途項目Vを参照、ただし地域性も考慮する。（例：お箸やストロー）

	ー購入の方針がありますか？また、具体的な目標や計画を立てて購入量の削減や環境配慮商品への転換に取り組んでいますか？	
1.19	【薬剤の使用】 薬剤（除草剤、殺虫剤、洗剤等）の使用量を把握し、具体的な目標や計画を立てて、その使用減と環境汚染の抑制に取り組んでいますか？	使われている薬剤とその目的が示されたリストを作成している。薬剤使用量の削減目標を設定し、代替となるノンケミカルなものを選んでいる。

3) 情報公開とサステナビリティ・コミュニケーション

AESA 項目		評価指標
1.20	【情報公開】 顧客やサプライヤー等のステークホルダーに対して、サステナビリティに関する方針、実践内容、実績に関する情報提供をし、参画を呼び掛けているか？	サステナビリティに関する方針を公開し、その方針に基づく実践内容をリスト化している。
1.21	【利用客の満足度】 利用客の声を効果的に集め、そのフィードバックを反映し、改善する仕組みがありますか？	サステナビリティの改善策について公開している。
1.22 (任意)	【地域のエコツーリズム支援】 地域内のエコツーリズムに関するプログラムやツアーを提供、あるいは紹介していますか？	エコツーリズムのコンセプトを理解し、直接的、あるいは間接的にプログラムを提供している。あるいは、責任あるコミュニティ・ベースト/ベネフィット・ツーリズム(CBT)や地域内のツアーを把握している。
1.23 (任意)	【バックヤードツアー】 あなたの施設の SMS やその取り組みを紹介するバックヤードツアーを行っていますか？	バックヤードツアーによって、サステナビリティの取り組みを伝えている。

II 飲食関連事項

1) 食品廃棄物の削減・リサイクル

AESA 項目		評価指標
2.1	【調達方針】 効果的な調達を行っていますか？	地元へ貢献する効果的な購入や調達をしている。責任ある良い取り組みをしている。
2.2	【食品残さ管理】 食品残さを管理する仕組みはありますか？	コンポストや飼料にするなど、食品残さを有効に再資源化している。
2.3 (任意)	【食品廃棄物削減】 食品廃棄物の水を切る、あるいは乾燥させることで量を減らしていますか？	食品廃棄物の水切りや乾燥することで、量や重さを減らしている。
2.4	【食用油管理】 食用油を再利用やリサイクルしていますか？	食用油を使った場合、廃油を燃料や石けんなどとして利用している。
2.5	【使い捨て製品の方針】 使い捨てを減らす方針がありますか？	ストロー、スプーン、お箸、持ち帰り容器等に関する方針がある。使い捨てプラスチックは避けている。

2) 食材の購入

AESA 項目	評価指標
2.6 【有機・エコ食材購入】 有機農産物や低農薬・無農薬栽培や低化学肥料・無化学肥料栽培の農産物を積極的に購入していますか？	サプライヤーリストを作成し、農産物の購入方針を実現するために、定期的にサプライヤーと検討している。
2.7 【サステナブル食材の購入】 できるだけ地域調達の食材（地産地消）や季節（旬）の食材を優先して購入するよう努めていますか？	全購入品リストを使って、地域調達、フェアトレード、旬の食材の確認をしている。 1か月に1回、エコ購入の割合をデータ化している。

III 廃棄物削減とリサイクル

1) 客室サービス

AESA 項目	評価指標
3.1 【アメニティ管理】 備え付けのアメニティはなるべく使い捨てでないものになっていますか？	備え付けのアメニティをリストアップしている（歯ブラシ、石けん、くし等）。
3.2 【包装】 包装を最小限にしていますか？	アメニティセットの二重包装や、不要なものは提供しないこと。
3.3 【洗面用具】 利用客が自分の洗面用具を持参するように勧めていますか？	歯ブラシ、シェイバー等。
3.4 【使い捨て容器】 使い捨ての容器を避け、詰め替え可能なディスプレイペンサールやボトルを使っていますか？	シャンプー、コンディショナー、ボディソープ、シャワージェル等
3.5 【寝具とタオル】 連泊の利用客に寝具やタオル類の交換不要を尋ねる表示がありますか？	部屋に交換不要の案内がある。チェックインや予約の段階で、交換不要について文章や口頭で勧めている。
3.6 【持ち込みごみ】 利用客が持ち込んだごみを分別、リサイクルしていますか？	客室係にごみ分別の研修を行う、あるいは、部屋に分別用のごみ箱を設置している。可能な限りリサイクルしている。
3.7 【客室の家具】 客室の家具（ベッド、椅子、テーブル等）は、修理やリフォームして長く使うように努めていますか？	写真に撮る、あるいは、リストにして記録している。

2) 管理/共有スペース/売店

AESA 項目	評価指標
3.8 【紙類管理】 紙類の分別やリサイクルを行っていますか？	コピー用紙、新聞紙、雑誌、段ボール等
3.9 【ごみ・資源の分別】 リサイクル可能な素材を分けていますか？	ペットボトル、缶、びん、そのほかの容器は、可能な限り分別している。
3.10 【印刷方針】 両面印刷をしていますか？	FAXも同様に両面印刷をしている。

3.11	【包装】 施設内の売店では、包装を最小限にしていますか？	利用者にマイバッグを持参することを勧めている。無い場合は、地域で作られた非プラスチック製のバッグを提供している。
3.12	【工芸品】 国際／地域の法令によって許可されたものを除き、歴史的、考古学的な工芸品の販売、交換、展示を避けていますか？	施設内の工芸品の合法性を確認している。

3) 施設共通

AESA 項目		評価指標
3.13	【固形廃棄物管理】 固形廃棄物の管理計画があり、それは実行されていますか？	蛍光灯、LED 灯、電池を分けて廃棄している。冷蔵庫、暖気・換気・空調システム（HVAC）はフロンガス（HCFC）を適切な方法で抜き取り、処理している。
3.14	【衛生設備】 下水処理設備は環境汚染を引き起こしていませんか？	その設備は、残留廃棄物によって、環境や地域住民に対して、不利益をおよぼしていない。

IV 省エネルギー・節水

1) 熱源・熱エネルギーの効率的な利用

AESA 項目		評価指標
4.1	【再生エネルギー】 太陽光、風力、水力、地熱等、自然エネルギーを活用した給湯や発電を行っていますか？	送電線やディーゼル発電機以外の給電方法をリスト化している。
4.2	【エネルギー消費】 エネルギーの総消費量を減らすために、その供給源と割合を示していますか？	エネルギー総消費量における自然/代替エネルギーの割合を、供給源ごとに示している。エネルギーの総消費量を減らすための取り組みをリスト化している。
4.3 (任意)	【地域のエネルギー供給】 周辺地域へのエネルギー供給に対する悪影響を最小限に抑えるための予防策をとっていますか？	可能な限り、周辺地域や都道府県の 1 人あたり、あるいはエリアあたりの平均値と比較している。

2) 暖房・換気・空調システム（HVAC）

AESA 項目		評価指標
施設共通		
4.4	【断熱性】 建物の断熱性の向上に努めていますか？	二重扉、回転ドア、ペアガラス、断熱サッシ、屋上や壁面の緑化等を導入している。
4.5	【室温】 事務所やバックヤードの温度は、国が定めるガイドラインに合わせて、暖房・換気・空調システムを管理し、調整していますか？	公共施設の基準温度は、例えば、日本の夏は 28℃、マレーシアとインドネシアは 24℃、ラオスとタイは 25℃。
客室		
4.6 (任意)	【客室室温管理】 各客室にエアコンやヒーターの調節機能はありますか？	各客室に自動温度調節器を設置している。

3) 照明

AESA 項目		評価指標
4.7	【エコ照明】 白熱灯を蛍光灯か LED にかえていますか？	蛍光灯や LED の導入割合が全体の 20%以上（参加レベル） 蛍光灯や LED の導入割合が全体の 80%以上（合格レベル）
4.8 (任意)	【省エネ管理】 客室不在時の電力使用を削減できる制御装置 がありますか？	客室の電気を止める簡単な装置や、スタッフが手動でコントロールできる仕組みがあ る。
4.9	【センサー】 共有スペースにおいて、照度センサーや人感セン サーやタイマー機能を使用していますか？	センサーが導入されている場所と数をリスト化している。

4) その他の省エネルギー

AESA 項目		評価指標
4.10	【省エネ設備】 省エネルギーの効果を最大化するように定期的 にメンテナンスを行っていますか？	省エネルギーに関わる設備のリストにはメンテナンスの日付を記録している。

5) CO2 を含む温室効果ガスの削減

AESA 項目		評価指標
4.11	【温室効果ガスの排出】 施設全体のエネルギー使用量から温室効果ガス 排出量を算出し、自ら設定した基準年と比較を しながら、温室効果ガスの削減に努めています か？	温室効果ガスの排出源をリスト化し、各排出量の計測に努めている。電力、ガス、 石油、廃棄物の搬出量などの計測値を前年あるいは前月と比較している。CO2 などの温室効果ガス排出量は、1 人/月または 1 人/年あたりで計算するよう努め ている。
4.12	【クライメート・ニュートラル】 クライメート・ニュートラル（CO2 などの温室効果 ガス排出量を算出し、エビデンスに基づいて相殺 し、証明書を取得すること）を達成する手段とし て、温室効果ガス排出量の管理やオフセットなど を実践していますか？	どのような手法や取り組みを行っているかリスト化している。
4.13	【移動手段】 利用客、従業員、サプライヤーの移動を減らす 努力をし、よりクリーンで、資源効率の良い移動 手段を提案していますか？	よりクリーンな移動のために、施設で保有する車両や、従業員、サプライヤーなどが 使う移動手段をリスト化している。

6) 節水

AESA 項目		評価指標
4.14	【節水】 水の使用量を減らすために、減圧弁、節水型シャ ワーヘッド、自動水栓などを活用していますか？	自動センサー、シャワーヘッド、トイレ洗浄などすべての水栓リストを作成している。水 の使用量について、1 分あたりの、あるいは 1 回あたりの流量を記録している。
4.15	【排水・中水利用】 処理された排水を再利用または中水利用をして いますか？	再利用処理水や中水利用の割合を確認している。
4.16	【雨水利用】 雨水を集めて利用していますか？	集めている雨水の量を確認している。 (シンガポールでは雨水を集めることは法律で禁じられています。)

4.17	【水の使用量】 水の使用量を水源ごとにすべて計測していますか？	可能であれば毎月、すべての水の使用量を計測し、リスト化している。
4.18	【水源】 水源を表示していますか？	すべての水源を示している。
4.19	【地域の水利用】 周辺地域の水利用を妨げていませんか？	施設の水利用が地域住民へ悪影響を及ぼしていない。

V グリーン購入/化学製品/その他

1) グリーン購入

AESA 項目		評価指標
消耗品		
5.1. 【購入方針】 サステナブルな購入方針があり、その割合を計測していますか？		環境配慮型商品の割合が 80%以上である。
5.2. 【ティッシュペーパー】 ティッシュペーパー		
5.3. 【メモ用紙や封筒】 メモ用紙や封筒		
5.4. 【その他の文房具】 その他の文房具・事務用品		可能であれば、トイレットペーパー、ボールペン、従業員の制服など
5.5. 【パンフレットやカタログ】 パンフレットやカタログ		
耐久消費財		
5.6. 【購入方針】 購入方針があり、次の環境配慮型商品の割合は 50%以上ですか？		サステナブルな購入方針があり、その割合を計測している。
5.7. 【社用車】 社用車		
5.8. 【事務機器】 パソコン、コピー機、プリンターなどの事務機器		
5.9. 【冷蔵庫】 客室の冷蔵庫		
5.10. 【空調・エアコン】 暖房、換気、空調システム		
5.11. 【客室電気機器】 客室のテレビ、コーヒーメーカー、電気ケトル		
取引先		
5.12. 【供給】 取引先に環境配慮型商品やフェアトレード製品・サービスの供給を要請していますか？		サプライヤーやバリューチェーンの業者に対する要請内容をリスト化している。
5.13. 【省エネの取組み】 取引先にアイドリングストップの実施や低公害車の使用を要請していますか？		取引先の業者名とその要請をした日付をリスト化している。

5.14 (任意)	【効率的な配送】 取引先と積載効率や配送時間、配送ルートなどを話し合い、効果的な配送に努めていますか？	渋滞を避ける配送ルートと時間帯を見つけ、より効率の良い配送を要請している。
5.15	【公共交通機関】 利用客に公共交通機関を使うことを推奨していますか？	公共交通機関に関する情報提供をしている。
5.16	【地元購入】 地元産のものや旬のもの、あるいは地域のサービスを優先して購入していますか？	優先的な購入のために、地元産のものや旬のもの、あるいは地域のサービスをリスト化している。
5.17	【地元起業家応援】 地域の自然・歴史・文化に根ざしたサステナブルな商品やサービスの販売を推進し、地元の起業家や社会的企業を支援していますか？	支援している起業家や企業の名前とその内容をリスト化している。

2) 化学物質、緑化

AESA 項目		評価指標
5.18	【緑化】 防虫剤、除草剤、化学肥料の使用をひかえ、環境負荷の少ない資材への転換に努めていますか？	防虫剤、除草剤、化学肥料、あるいはそれに類するものをリスト化している。
5.19	【有害物質管理】 洗剤、清掃用品、化学薬品、ペンキ、プールなどの消毒剤の使用をひかえ、環境負荷の少ない資材への転換に努めていますか？	洗剤、清掃用品、化学薬品、ペンキ、プールなどの消毒剤やそれに類するものをリスト化している。
5.20	【環境保護活動】 直接的または間接的に、地域の環境保護活動に参加し、利用客に対してもそのような機会を提供していますか？	ビーチの清掃、植林、環境保全など

VI 環境配慮

1) エコツアー

AESA 項目		評価指標
6.1	【プログラムの提供】 エコツアープログラムを提供していますか？	施設に所属するガイド、地元のガイド、地域外のガイドなど
6.2	【インタープリテーション】 地域の自然、文化、歴史などを学ぶアクティビティを提供していますか？	施設に所属するガイド、地元のガイド、地域外のガイドなど
6.3	【質の向上】 インタープリテーションプログラムの質を高める仕組みはありますか？	どのように質を高めているかを示す。例) 研究者を招いて学んでいる。類似したプログラムの視察をしている。
6.4	【食器類の利用】 ツアー中の食事の食器や容器は、サステナブルな素材ですか？	使い捨てプラスチック容器や食器は使用しない。例) 竹製品や木製品などを選ぶ

2) 周辺環境への配慮

AESA 項目		評価指標
6.5	【動物の光害】 照明は夜行性の動物に配慮していますか？	照明を上向きにせず、建物の開口部には、遮光カーテンやブラインドなどを使用している。
6.6	【造園用植物】 敷地内の植生はその土地のものですか？侵略的外来種や移入種の持ち込みを制限していますか？	敷地内にある植物種をリスト化し、特に、管理計画を必要とする外来種についても記載している。
6.7	【餌付け】 国内や国際的なガイドラインに準じた野生生物の餌付けに関する明確なガイドラインやルールを設定していますか？	餌付けはすべきではないが、餌付けをする場合は、悪影響を最小限にするルールを設定している。
6.8 (任意)	【ペット】 国内や国際的なガイドラインに準じた同伴ペットに関する明確なガイドラインやルールを設定していますか？	敷地内にペットを入れる場合は、悪影響を最小限に抑えるルールを設定している。
6.9	【野生生物の利活用】 野生生物の利活用が持続可能であることが証明されている地域的/国際的な法を順守した限定された活動に限って、野生生物の捕獲、消費、展示、売買が認められていることを確認していますか？	安定した生息数を維持するために、利活用している野生生物種をリスト化している。
6.10	【動物福祉】 地域的/国際的に適切に管理された活動以外に、野生生物の捕獲や飼育や繁殖をしないことが担保されていますか？そして、保護されている野生生物の飼育については権限がある団体によって適切に管理され、適切な飼育環境が整っていますか？	すべての野生生物や家畜の、施設や世話、取り扱いは、もっとも高い動物福祉の基準に従っている。
6.11	【行動規範】 自然、文化、歴史的に特別な配慮が必要な場所では、環境への悪影響を最小限に抑え、利用客の満足度を最大化するためにガイドラインや行動基準に沿っていますか？	その地域に根差したガイドラインや行動規範に沿っている。
6.12	【保護・保存】 地域の財産や土地、そして、歴史的、考古学的、文化的、精神性において重要な伝統の保護、保存、強化に貢献していますか？	取り組みの詳細をリスト化している。
6.13	【生物多様性】 敷地内の生物多様性に関して、適切な保全活動を行っていますか？	在来種を持ち込むことや、寄付金による貢献に限らず、現状の生物多様性を支援する包括的で持続可能な仕組みをリスト化している。
6.14	【野生生物との関わり】 野生生物との関わりにおいて、その生存や行動に悪影響を与えないようにしていますか？	野生生物との関わりにおける悪影響を最小限にする取り組みをリスト化している。

6.15	【自然生態系】 徘徊性の野生動物との関わりにおいて、自然生態系のかく乱や累積的な影響を防いでいますか？	自然生態系のかく乱を最小限にするための取り組みをリスト化している。
6.16	【再生・補償】 影響をおよぼした自然生態系を再生もしくは、補償・代替の措置をとる努力をしていますか？	再生や補償・代替の取り組みとその結果をリスト化している。
6.17	【公害】 騒音、光害、汚水の流出、浸食、オゾン層破壊物質など、大気や土壌の汚染物質を減らす取り組みをしていますか？	汚染物質削減の取り組みをリスト化している。

3) 地域コミュニティとの関わり

AESA 項目		評価指標
6.18	【均等雇用】 地域住民に対して均等な雇用と昇進の機会を提供していますか？	性別、人種、宗教、障害やその他による差別をしていない。
6.19	【地域への利益還元】 地域コミュニティや環境活動に対して利益還元をしていますか？	例) 気候変動の影響に関する取り組みや、その地域の保全活動
6.20	【地域合意】 地域や先住民のコミュニティが存在する場所での利用客の行動管理や情報提供に関して、地域の合意を得た行動規範やガイドラインはありますか？	例) 先住民コミュニティが神聖な儀式を行う川で泳ぐことに関する地域合意
6.21	【協働】 地域コミュニティと共に持続可能な取り組みをしていますか？	地域コミュニティとの合意や協働によって作られた行動規範がある。
6.22	【アクセスの配慮】 土地、水辺、通行権、交通や住居など、地域住民の日常的な利用を妨げていませんか？	例) ビーチフロントの施設は、公共の砂浜へのアクセスを阻害していない

3) エネルギー

AESA 項目		評価指標
6.23	【備品リスト】 エネルギーを消費するすべての備品をリスト化していますか？	客室、別館、建物、庭などにおいてエネルギーを消費する備品リストを作成している。
6.24	【電気製品】 個々の電化製品のエネルギー消費量を計測していますか？	エネルギー消費が著しい電化製品の、個別と合計のエネルギー消費量を計測している。例) 常時稼働している冷蔵庫/冷凍庫、エアコン、ポンプなど
6.25	【消費量の計測】 施設全体のエネルギー消費量を計測し、記録していますか？	可能な限り毎月記録し、保存することで、消費量の傾向を把握している。

6.26	【省エネ行動計画】 再生可能エネルギーの利用率を上げる目標値が盛り込まれた、具体的な省エネルギーの行動計画がありますか？	実測値をもとに、省エネルギーのための目標値を盛り込んだ行動計画を作成している。
6.27	【検証】 省エネルギーの行動計画の実践結果を測定し、検証していますか？	計画を実行した場合は、削減効果を検証している。

5)設計、立地、建設、施工

AESA 項目		評価指標
6.28	【土地利用】 土地利用は、地域の土地利用区分、保護地区、遺産地区に関する法律や条例を順守していますか？	順守できているかどうか政府機関に確認をしている。
6.29	【法律順守】 設計、立地、建設、改修、施工、解体に際し、保護地区や遺産を含む特に配慮が必要な場所における、地域の土地利用区分、法律や条例を順守していますか？	順守できているかどうか政府機関に確認をしている。
6.30	【許容範囲】 施設計画、立地、設計、改修に際し、さまざまな許容範囲を考慮し、周囲の自然遺産や文化遺産の価値を損なわないよう配慮していますか？	施設計画、立地、設計、改修のそれぞれが、周辺との調和を保っていることを確認している。
6.31	【適切でエコ】 施設の建設、改修、解体は、地域にとって適切であり、環境に配慮したものでですか？	サステナブルな立地：建物の生態系におよぼす影響などの悪影響を最小化し、最適な方法で土地利用をしている。 省エネルギー：新築や改修においては、想定される使用量、稼働率、その他のエネルギー使用を想定して、省エネルギーの目標を設定している。 節水：地形、雨水の収集、中水利用、排水の浄化システムを最適化することで、真水の需要を減らし、排水を減らしている。 建材：持続可能な建材や資源を利用することによって、環境にやさしい建材は、資源の過剰利用、加工、輸送、固形廃棄物、消費の削減につながっている。 施工中の健全な室内環境：施工期間中は、換気、快適な室温・湿度管理、採光、喫煙管理などに配慮している。
6.32	【特別な配慮】 特別な配慮を必要としている人に対するのアクセスと適切な情報を提供していますか？	どのような配慮が必要か、またその情報をリスト化している。例) 車いすのアクセス
6.33	【ほんもの】 施設の運営、デザイン、装飾、食事、売店などには、伝統的または現代のローカルアート、建築様式、文化遺産など、「ほんもの」の要素を取り入れていますか？	取り入れている要素とその詳細をリスト化している。
6.34	【知的財産】 施設は、地域コミュニティの知的財産に対して敬意を払っていますか？	施設で使われている地域の要素は、地域コミュニティの知的財産を侵害していない。

6) その他

AESA 項目		評価指標
6.35	【利用者への情報提供】 客室や共有スペースで地域の自然、文化、安全管理、リサイクル、省エネルギーに関する情報提供を行っていますか？あるいは利用客が到着した時に説明していますか？	どのように表示、あるいは情報提供しているかを記述している。 例) 客室、ウェブサイト、チェックイン時
6.36	【行動マネジメント】 客室や共有スペースに、自然や地域コミュニティ、文化遺産などを訪れる際の適切なガイドラインを表示していますか？あるいは利用客が到着した時に説明していますか？	どのように表示、あるいは情報提供しているかを記述している。 例) 客室、ウェブサイト、チェックイン時
6.37	【地元の食応援】 魅力ある地域の食を推進するために、地元の食材とレシピを使った食事を提供していますか？	地域ならではのメニューにマークをつけている。地元の食材とレシピが使われている割合を提示している。
6.38 (任意)	【地元の商品】 売店で、地元の食材、工芸品などの商品が販売されていますか？	地元の商品とそうではないものの割合を提示している。
6.39 (任意)	【宣言書】 施設のウェブサイトやパンフレットに、アジアエコツーリズムネットワーク(AEN)のガイドラインを順守している宣言書が提示されていますか？	https://www.asianecotourism.org/ 様式は AEN のウェブサイトにて入手可能。
6.40	【食事制限】 アレルギー、ベジタリアン、宗教的な理由による食事制限が事前にわかった場合、対応は可能ですか？	対応可能な食事についてリスト化している。

※NPO 法人日本エコロジー協会の解散にともない、GSTC に承認を受けている *Environmentally Sustainable Accommodation International Standard (ESAIS)* (環境に配慮した地域振興型宿泊施設のための国際基準) は、2017 年末に全ての権利を AEN に移譲した。その後、AEN により基準の見直しが行われ、GSTC-I の改定にあわせて変更された。また、アジアにおけるエコツーリズムの状況に合わせ、日本だけ該当していた部分を省いた。多くの基準項目は必須だが、任意項目は、上記の表にて色付のセルで示されている。

(翻訳協力者名(順不同) : 大浦佳代・梅崎靖志・塚原俊也・稲垣香織・貝和慧美・月江潮・久保竜太・荒井一洋・高山傑)